

令和6年度 浜松市立金指小学校 学校評価報告書

1 自己評価

自己評価結果、考察及び改善方策

別紙（学校運営協議会用資料）のとおり

2 学校関係者評価

2月14日（金）に開催した学校関係者評価委員会（学校運営協議会）において、自己評価結果、考察、及び改善方策について委員に報告。委員からは以下のような意見があった。

- ・ただ、大きな声であいさつができればいいわけではない。相手と心が通い合うあいさつとは、何かを考えさせたい。
- ・なぜ、あいさつが必要なのか、社会に出た時もあいさつは大事である。あいさつの大切さについて、話し合う場を設けたらどうか。
- ・自分が学校に来ると、子供たちは、元気な声であいさつをするが、外で見かけてもあいさつはできる子はほとんどいない。やらされるあいさつでは、場が変わればできなくなってしまう。
- ・駅を利用する高校生も、あいさつができる人は1割もいない。学校だけでなく、家庭環境も大きく影響していると思う。保護者も巻き込み、考えていく問題。

3 学校関係者評価を受けて

学校関係者評価を基に、以下の点について改善を図る。

- ・4月、9月、1月の生活のめあてのテーマが「あいさつ」である。その時に、「なぜ、あいさつが必要なのか。」「気持ちのよいあいさつとは。」を学級全体で話し合う場を設ける。そして、個人目標を立て、目標達成できるように、学校全体で取り組んでいきたい。
- ・学級懇談会で、学校での取り組みを紹介するとともに、家庭での様子を聞く。家庭での効果的な取り組みを、学校だよりやブログなどで紹介していく。